

建設・解体工事を行う事業所の皆様へ

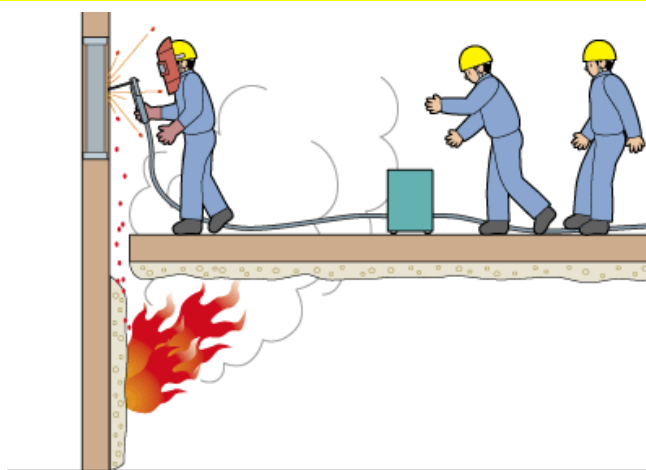
溶接・切断作業等の火災にご注意を!!

火災事例 1

ビル建設工事現場で鉄骨を溶断していたところ、火花が周囲の断熱材に着火して5人が死亡・42人が負傷

火災事例 2

化学工場で配管を切断していたところ爆発して1人が死亡・2人が負傷



出典：厚生労働省ホームページ

https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SAI_DET.aspx?joho_no=100919

◎溶接・溶断の火花は切断用酸素の圧力や作業場所の高さにもよりますが、火花の飛散距離は **5m～10m** にも及びます。

◎火花の温度は **1,200～1,700 度** に達します。飛散した火花が可燃物上に落下し、くすぶり続け作業終了後、無人の作業所内で出火した事例もあります。

◎溶接・切断火災等防止チェックリスト

- ☐ 作業前に施設関係者、作業員全員で作業内容や出火防止の注意点について確認
- ☐ 溶接、切断作業場所周囲の整理整頓、可燃物の除去
- ☐ 作業区画の形成、関係者以外立入禁止の措置
- ☐ 不燃シート、防災シート等を適切に使用
- ☐ 溶接・切断箇所のみでなく、壁内部や天井裏の断熱材等の可燃物がないか確認
- ☐ 消火器などを準備
- ☐ 可能な範囲で散水の実施
- ☐ 災害発生時又は施設に異常が生じた場合など緊急時における対応策の確立
- ☐ 作業終了後の臭気、発煙の確認

危険物施設（化学工場・ガソリンスタンドなど）における工事においてはさらに・・・

- ☐ 溶接・切断場所周囲の機器、配管内部の危険物の除去、周囲の可燃物の除去
- ☐ 可燃性蒸気の排出
- ☐ 可燃性ガス測定器で濃度の測定
- ☐ 危険物保安監督者、危険物取扱者等による立会い、必要な監督、指示

問い合わせ先

高岡消防署 0766-22-0119

伏木消防署 0766-44-1122

戸出消防署 0766-63-0045

福岡消防署 0766-64-3305

氷見消防署 0766-74-8300

